

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 17 日 (2015.9.17)

【公表番号】特表 2014-525518 (P2014-525518A)

【公表日】平成 26 年 9 月 29 日 (2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2014-053

【出願番号】特願 2014-525102 (P2014-525102)

【国際特許分類】

D 0 1 F 8/16 (2006.01)

D 0 4 H 3/147 (2012.01)

D 0 4 H 3/009 (2012.01)

【F I】

D 0 1 F 8/16

D 0 4 H 3/147

D 0 4 H 3/009

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 28 日 (2015.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コアと外層とを含む多成分繊維であって、

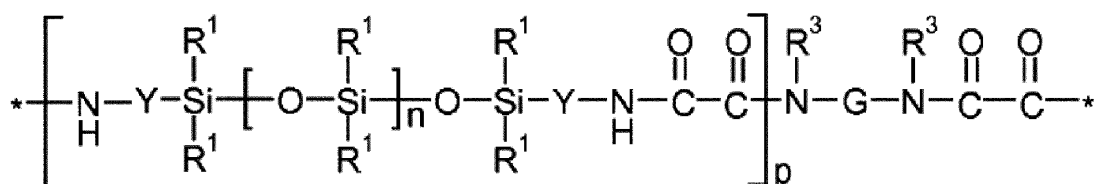
前記外層の少なくとも一部分は、ポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む第一の溶融加工可能な組成物を含み、

前記コアの少なくとも一部分は、ポリジオルガノシロキサンポリマーを含まない第二の溶融加工可能なポリマーを含む、多成分繊維。

【請求項 2】

前記第一の溶融加工可能な組成物が、式 I の繰り返し単位を少なくとも 2 個含むポリジオルガノシロキサンポリオキサミドを含む、請求項 1 に記載の多成分繊維。

【化 1】



I

[式中、

各 R¹ は独立してアルキル、ハロアルキル、アラルキル、アルケニル、又はアリールであるか、又はアルキル、アルコキシ、若しくはハロで置換されたアリールであり、この場合、少なくとも 50 パーセントの R¹ 基はメチルであり、

各 Y は、独立して、アルキレン、アラルキレン、又はこれらの組み合わせであり、

G は、アルキレン、ヘテロアルキレン、ポリジオルガノシロキサン、アリーレン、アラ

ルキレン、又はこれらの組み合わせであり、

R^3 は水素若しくはアルキルであるか、又は R^3 は G 及びそれらが両方結合している窒素と共に複素環基を形成し、

n は、独立して、40～1500の整数であり、

p は1～10の整数であり、並びに、

アスタリスク(*)は、繰り返し単位が前記コポリマー内の別の基に結合する部位を示す。]

【請求項3】

前記第一の溶融加工可能な組成物が、40重量%～60重量%のMQシリケート粘着付与樹脂を含む感圧接着剤である、請求項1に記載の多成分繊維。

【請求項4】

ポリジオルガノシロキサンポリアミドコポリマーを含む第一の溶融加工可能な組成物を提供する工程であって、前記組成物が、200～300の範囲の温度及び1ヘルツのせん断速度にて500～5000ポアズの範囲の複素粘度を有する、工程と、

ポリジオルガノシロキサンポリマーを含まない第二の溶融加工可能な組成物を提供する工程と、

前記第一及び前記第二の溶融加工可能な組成物をメルトブローして多成分繊維を形成する工程と、

を含む、多成分マイクロファイバーの作製方法。

【請求項5】

請求項1～3のいずれか一項に記載の多成分繊維を含む、不織布ウェブ。

【請求項6】

支持体と、請求項5に記載の不織布ウェブと、を含む、医療用物品。

【請求項7】

前記物品が、テープ、創傷被覆材及び切開手術用ドレーブからなる群から選択される、請求項6に記載の医療用物品。